

な ら し の

あしたのハーモニーが響くまち 習志野市



学校教育だより

発行・編集 習志野市教育委員会 ☎ 047-451-1151 (代表)

Narashino Municipal Board of Education

地域と共に50年



50周年記念式典 運動会 津田沼幼稚園

昭和48年に開園した本園は創立50周年を迎え、10月21日に地域の皆様をお招きして『津田沼幼稚園50周年記念運動会』を開催しました。お祝いのセレモニーでは、園児によるフラッグダンス、全親子でのケーキ作り、最後にたくさんの御来賓の方に見守っていただく中、市長・市議会議員・教育長と全園児でくす玉を割りました。今後も子どもたちが健康で笑顔あふれる津田沼幼稚園であるよう職員一同、教育保育に取り組んでまいります。【津田沼幼稚園長 森谷 美枝子】

2024年 新たな歩み

あけましておめでとうございます。令和6年新しい年がスタートしました。第137号表紙では昨年10月21日に開催された、津田沼幼稚園創立50周年記念式典の様子をお伝えいたします。今年度は、鷺沼小学校(11/18)、津田沼小学校(12/16)、藤崎小学校(2/17)でも周年行事が行われます。幼稚園や小学校の誕生を振り返り、未来に向かって新たなスタートを切ってまいります。(文責 教育総務課 佐藤)

・周年行事(津田沼幼).....	1面
・教育長 巻頭言.....	2面
・合唱・マーチング 全国コンクール結果.....	3面
・障害者福祉大会・ガスフェスタ等 表彰.....	4面
・「税の標語」コンクール・県誕生150周年記念事業・こども県展.....	5面
・「少年の日」ポスター青少年健全育成標語 表彰式.....	6面
・公開研究会.....	7,8面
・全国学力・学習状況調査概要.....	9面
・防災教育・教育功労者.....	10面
・習志野高校ニュース.....	11面
・リレー連載(第七中).....	12面

Contents

テーマ

「 学びの充実 」 ～教育実践の成果～

第 **137** 号

2024年1月

【習志野市ホームページ】 学校教育だよりはこちらからもご覧いただけます



「躍進そして成長から安定へ」

習志野市教育委員会教育長 小熊 隆



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また日頃より本市の教育行政にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことを皮切りに、運動会や体育祭でマスクを外しての応援や競技、鹿野山セカンドスクールの宿泊学習など、コロナ以前のように活気のある行事や学習を行うことができました。単純にコロナ前に戻すのではなく、行事本来の目的や意義を見つめなおし、児童生徒が達成感や充実感を得ることができるよう、教育活動を進めてまいりました。

学校スポーツにおきましては、習志野高校では、インターハイにおいて柔道73kg級で高橋 叶選手が日本一に輝きました。続く秋の大会では、バレーボール部が38年ぶりに男女同時に春高バレー出場を決め、男子バスケットボール部は年末に行われた、日本一を決めるウインターカップに出場することができました。さらに、ボクシング部では、片岡雷斗選手、片岡叶夢選手が、国体そしてアジアユース・ジュニア選手権で活躍するなど、習高運動部は、県内の児童生徒の憧れの的であり、目標となっています。

音楽活動では、習志野高校、第四中学校、大久保小学校の吹奏楽部が、揃って全日本バンドフェスティバル・マーチングコンテストに出場し、高い評価をいただきました。また大久保東小学校合唱部が全日本合唱コンクールに出場するなど、多くの小中学校が県で上位の成績を納め、「音楽のまち習志野」の名を響き渡らせることができました。

他にも、第一中学校の深谷さんが全日本ユース珠算選手権大会で優勝、第四中学校の菊池さんが英語発表会スピーチ部門で千葉県1位に輝くなど、近年にはない活躍が多く見られ、習志野市にとってまさに躍進の年となりました。

一方、生涯学習、学校教育においては、本市全ての公立小・中・高等学校で、学校運営協議会がスタートいたしました。保護者負担の軽減などの課題についての意見を交換したり、教育活動に関わっていただいたりすることができ、地域と学校がパートナーとなって、連携・協働し、一つの大きな社会となって、習志野の教育を進める一助となっております。

さらに、芸術文化活動では、市民文化祭、地域コンサートなど、従前にも増して盛んに行われ、プラッツ習志野をはじめ、公民館や図書館、スポーツ施設などの多くの皆様にご利用をいただきました。文化ホールが休館中であり、他市の施設をお借りするなど、ご不便をおかけしておりますが、改めて体験・発表する機会の大切さを感じております。今後もより一層、生涯学習の推進と、地域の活性化を図ってまいります。

結びに、今年は「辰(たつ)」年です。「辰」という字のももとの意味は、草木が盛んに成長し、形が整った状態を示すとも言われております。本年が、皆様にとって成長から安定へとつながる、実り多い一年となりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

あしたの「ハモニ」が響くまち 習志野市



キラリ☆と輝く 習志野っ子の活躍



全国の舞台へ！
皆の心に音色
響かせ

全日本小学校バンドフェスティバル及び
全日本マーチングコンテストに出場する
市内小・中・高等学校の演奏披露・激励会
11月4日(土)



感染症対策のために中止していた「全日本小学校バンドフェスティバル及び全日本マーチングコンテスト」に出場する市内小・中・高等学校の演奏披露・激励会を4年ぶりに開催いたしました。全国コンクールに出場する大久保小学校、第四中学校、習志野高校が演奏披露を行い、息の合った隊形移動や演奏が大きな感動を与え、曲のフィナーレを奏すると会場一帯に大きな拍手が巻き起こりました。3校のこれまでの努力を讃え、全国大会に向けて激励するとともに、市民の皆様に児童生徒の素晴らしい姿をご覧いただきました。(文責 教育総務課 佐藤)

合唱・マーチング 全国コンクール結果

11月に開催された、合唱とマーチングのコンクールの結果をお知らせします。

第5回 全日本小学校合唱コンクール 11月12日(日) 福岡シンフォニーホール

大久保東小学校 銅賞

第42回 全日本小学生バンドフェスティバル 11月18日(土) 大阪城ホール

大久保小学校 銀賞

第36回 全日本マーチングコンテスト 11月19日(日) 大阪城ホール

(中学校の部) 第四中学校 金賞

(高等学校以上の部) 習志野高校 金賞

堂々とした姿で織りなす音色が大きな感動を与えました!

ガスフェスタ児童絵画展と防火図画作品展表彰式(11/12)、第55回千葉県身体障害者福祉大会(11/21)などが開催され、夏休みに児童生徒が意欲的に取り組んだ多くの作品が賞に入りました。(文責 指導課 野口)

第69回青少年読書感想文千葉県コンクール

- 【小学校 課題図書の一部 優秀賞】 村田 湊斗 さん (屋敷小 3年)
- 【中学校 課題図書の一部 佳作】 日野岡 咲空 さん (第二中 1年)

第47回千葉県課題図書読書感想文コンクール

- 【最優秀賞 千葉市長賞】 葛西 慶乃 さん (第六中 3年)
- 【優秀賞 千葉日報社長賞】 熊本 綺琳 さん (第六中 3年)
- 【優良賞】 早川 清順 さん (袖西小 3年)
- 松原 悠樹 さん (向山小 6年)

読書感想文

科学作品展



今年度も多くの児童生徒が受賞しました!

- 関口 英志 さん (大久保小 4年)
- 松尾 ほのか さん (第六中 3年)

千葉県児童生徒・教職員科学作品展

- 【優良賞】 廣瀬 香帆 さん (袖西小 2年)
- 【佳作】 下村 亜玖里 さん (第二中 1年)

千葉県身体障害者福祉大会

出会い、ふれあい、心の輪をテーマに作文やポスター制作に取り組み、人とのつながりの大切さを啓発しました。

心の輪を広げる体験作文

- 【千葉県知事最優秀賞】 上林 ゆず葉 さん (谷津南小 5年)
- 【千葉県知事優秀賞】 橋本 愛由 さん (谷津南小 4年)
- 【千葉県身体障害者福祉協会理事長賞】 梅田 悠太郎 さん (谷津南小 4年)



【障害者週間のポスター】

- 【千葉県知事最優秀賞】 竹中 来瞳 さん (谷津南小 6年)
- 【千葉県知事優秀賞】 山本 総司 さん (谷津南小 6年)

ガスフェスタ児童絵画展

ガス・水道・下水道をテーマにポスターを作画し、自分たちの身の回りの環境について関心を高めることができました。

【市長賞】

【市議会議長賞】

【教育長賞】

【企業管理者賞】



持田 静香さん (津田沼小 2年)



中村 理央奈さん (大久保東小 2年)



小野 詩織さん (大久保東小 3年)



伊吹 心さん (谷津南小 3年)

習志野市防火図画作品展

防火を投げかけるポスターの作画を通して、火災予防について啓発し、防災意識を高めることができました。

【最優秀賞】

【特別賞】

【特別賞】

【市長賞】

【市議会議長賞】

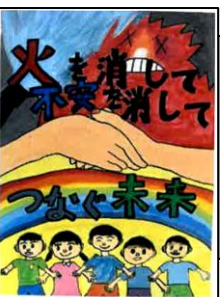
【教育長賞】



八巻 湊さん (谷津南小 3年)



稲見 汐璃さん (大久保小 6年)



深串 五十鈴さん (谷津南小 5年)



高木 祐実さん (実籾小 5年)



村川 輝向さん (袖東小 4年)



橋口 暖永さん (谷津南小 4年)

「税の標語」コンクール

県間税会連合会長賞

全国間税会総連合会が公募している「税の標語」コンクール表彰式が11/12に千葉市中央区で行われ、三中菅原さんが表彰されました。菅原さんは「税金は日常生活に欠かせないものに役立てられていることを知ってほしい」という思いを込めて標語を作りました。

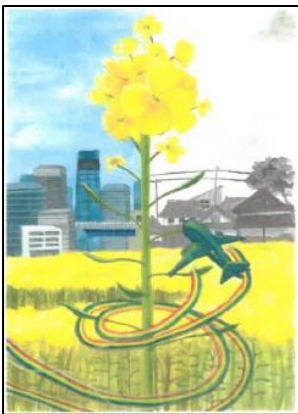
「税金の視点を変えると 意義を知る」

第三中 3年
菅原 陸美 さん

千葉県誕生150周年記念事業 「未来へ つなげたい ふるさと」ポスターコンクール

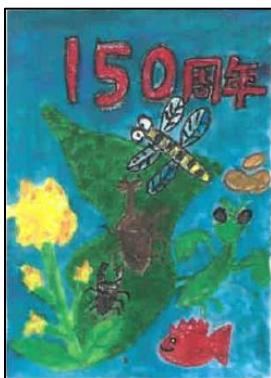
千葉県教育委員会が、千葉県誕生150周年を機に、県内の児童生徒がふるさと千葉県の魅力を再発見すると共に、その魅力を未来へつなげたいという思いを育むため、ポスターコンクールを実施しました。県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校から合計1,065枚の応募があり、その中で習志野っ子も賞に輝きました。

【千葉県知事賞】



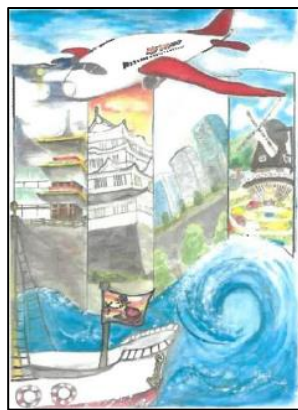
紀 深月さん
(習志野高校 2年)

【入選】



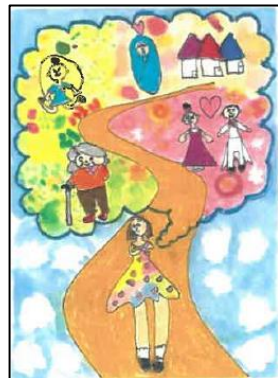
荻野 稜真さん
(東習小 2年)

【千葉日报社賞】



重見 綾乃さん
(第六中 2年)

【入選】



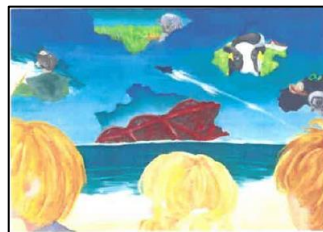
鈴木 舞菜さん
(実柵小 2年)

【特選】



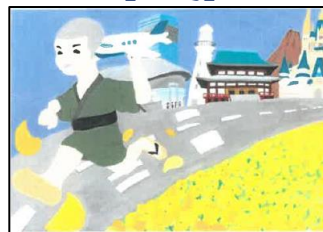
七戸 湊璃さん
(習志野高校 2年)

【入選】



吉田 真理愛さん
(習志野高校 2年)

【入選】



鈴木 ひなたさん
(習志野高校 2年)

【特選】



熊川 凜子さん
(谷津小 4年)

【入選】



河口 千春さん
(習志野高校 1年)

こども県展

第68回こども県展(令和5年度千葉県児童生徒美術展覧会)の表彰式が12/15に行われました。習志野っ子の会心の作品が特別賞に輝きました。

【千葉日报社長賞】

田久保 あかり さん (第五中 1年)

【審査委員長賞】

森本 康介 さん (大久保小 4年)

優れた感性と努力で、他にも多くの市内児童生徒が入賞しました。



「少年の日」ポスター 青少年健全育成標語 表彰式



12月3日(日)に第36回「少年の日」ポスター及び令和5年度習志野市青少年健全育成標語表彰式が、市庁舎グラウンドフロアにて開催されました。児童生徒の力のこもった入賞作品をご紹介します。(文責 青少年センター 中山)



【少年の日 ポスター 入賞作品】

初めて市庁舎で表彰式を行いました!!



市長賞



小濱 杏李さん
(秋津小 6年)

市議会議員賞



清水 梨華さん
(谷津小 5年)

教育長賞



吉江 麻結さん
(実花小 6年)

青少年補導委員連絡協議会長賞



久良木 優衣さん
(谷津小 6年)

優秀賞



渡邊 華帆さん
(津田沼小 4年)



須藤 海音さん
(津田沼小 5年)

優秀賞



小日向 柚葉さん
(東習小 6年)



上畝 南瑠さん
(屋敷小 5年)



笠井 柚希さん
(藤崎小 5年)



宮本 みらいさん
(向山小 4年)



加藤 愛莉さん
(秋津小 6年)



天野 あかりさん
(谷津南小 4年)

【青少年健全育成標語 入賞作品】

市長賞

「今言おう言葉にしよう ありがとう」

第五中学校 3年
松繁 周造 さん

市議会議員賞

「違っていい 十人十色 僕の色」

第二中学校 3年
石井 皓揮 さん

教育長賞

「伝えあおう 日ごろの感謝 ありがとう」

第六中学校 3年
葛西 慶乃 さん

青少年健全育成連絡協議会代表者会長賞

「そばにいて 支えてくれる あたたかさ」

袖ヶ浦西小学校 6年
鈴木 優奈 さん

優秀賞

「家族だから 友だちだからさ たよってよ」

津田沼小学校 5年
持田 明日香 さん

優良賞

「君がいい となりで笑う 宝物」

実籾小学校 6年
松宮 愛恵 さん

習志野っ子 渾身の作品!! 見る人の心を動かししました



豊かな学びを目指して

公開研究会

幼稚園1園、小学校9校、中学校1校が公開研究会を行いました。市外や県外からも多くの参観者があり、協議会を通して習志野の教育がさらに前進してまいります。藤崎幼稚園、小学校は現校舎での最後の公開研究会となる大久保小学校、そして第七中学校の研究の成果を紹介します。（文責：指導課 野口）

藤崎幼稚園（10月11日）



表現する力を育む援助のあり方 ～造形的な遊びを通して～

研究主題のもと、幼児が関わって生み出したものを全て表現と捉え、ありのままの表現を認めたり、誰でも何度でも取り組める教材や環境を考えたりする等の援助をしていくことで、自分の思いを自信をもって表し、のびのびと表現することを楽しむ姿につながりました。今後も造形遊びを柔軟に捉え、幼児の実態に合わせた材料や場、時間等を提供し、より豊かな表現や自己肯定感が高まる経験を多く引き出していきます。（研究主任 吉村 愛美）



幼児たちの
思いが認め
られ、のび
のびと表現
する姿が見
られました

大久保小学校【国語科】（11月2日）

主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習 ～思いを明確に表現し、対話を通して読みを深める授業づくり～

研究主題のもと、①多様な情報を整理し、多面的に解釈する手立ての追究②自分の思いを相手に伝わるように表現する手立ての追究と設定しました。言葉を手掛かりとしながら、目的に応じて必要な情報を見付けることや、想像を膨らませながら読みを深めていくための手立てを研究しています。対話的に学び合うことで、新たな視点に気付いたり、思考を深めたりすることができました。（研究主任 佐藤 亜弓）



【児童が対話する様子】



第七中学校（10月31日）

すべての生徒の学習への参加と理解を促す授業のあり方 ～授業のユニバーサルデザイン化の視点から～



本校では、研究主題について、授業のユニバーサルデザインの視点から研究を重ねてきました。授業のユニバーサルデザインは、多様化が進む教育現場で「わかりやすい授業づくり」をするために、今後不可欠なキーワードになると考えます。今回提案したことを、各学校の実践を見つめなおす視点の1つとしていただくと幸いです。更なる授業の充実のため、全校一丸で頑張ります。（研究主任 永井 健吾）

公開研究会を行った市内各小学校の、研究主題と研究授業の様子を紹介します。

津田沼小学校【体育科】（10月20日）

仲間と共に高め合う体育学習 ～思考をはたかせる学習の中で、児童の様々な関わりがうまれる手立てを講じて～

児童一人一人が他者との関わりを通して、個々の課題解決や目標達成に向けて活動するために、めあての設定や授業内容を工夫していました。

谷津小学校【生活科・社会科】（11月14日）

社会の一員を育てる生活科・社会科の授業の創造 ～探究する子どもの育成をめざして～

児童が夢中になって探究し、自ら問題を解決するために、授業の単元構成や手立てを工夫していました。

大久保東小学校【国語科】（11月17日）

思考し表現する力を育む国語科学習 ～自分の考えをもち、広げ深めるための指導の工夫～

感じたことや考えたことを自分の言葉で書いて伝え合う場面を設定し、児童の思考力や表現力を育成していく授業を展開していました。

東習志野小学校【生活科・理科】（11月16日）

生き生きと活動する子供の学びを育てる ～対話を通し、気づきの質を高めていく子供の育成～（生活科）
～対話を通し、追究していく子供の育成～（理科）

他者との話し合いや学習内容等との関わりを「対話」という形で表現し、その対話を通して学びを深める授業を展開していました。

藤崎小学校【学校安全】（11月7日）

安全安心なまちづくりに貢献できる児童の育成 ～学校・家庭・地域で取り組むSDGs～

校内や地域の安全について学習したことをいかし、安全・安心に生活するために、自分がすべきことやできることについて考えたり共有したりする授業を展開していました。

実花小学校【算数科】（11月9日）

子どもたちが主体的に学び合う算数科学習 ～充実した比較検討の場を目指して～

全ての児童が課題解決を目指せるよう題材を工夫し、児童が見通しをもって自力解決をし、比較検討をすることを通して主体性を育む授業づくりを研究していました。

秋津小学校【体育科】（10月30日）

ともに学び運動に取り組もうとする力を育む体育学習

児童同士が関わり合って知識・技能の習得をしたり、考えを広げたりできるように、教材や学習の過程を工夫していました。

香澄小学校【道徳科】（11月1日）

自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成 ～教材を通して、考えを広げ深める授業をめざして～

自己を見つめる動機付け、多面的・多角的に考えるための思考ツール等の活用、考えを広げ深めるための対話を意識した授業を展開していました。

児童生徒の学びが広がり 笑顔あふれる授業の実現へ

令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

～結果から分かる課題と取り組み～ 習志野市総合教育センター



調査実施日：令和5年4月18日（火） 調査対象：小学校6年生（16校） 中学校3年生（7校）

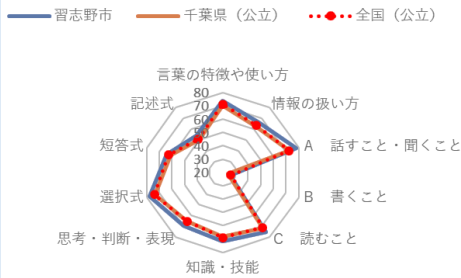
【国語】 小学校6年生

正答率		
習志野市	全国	全国1位
71%	67.2%	72%

【国語】 中学校3年生

正答率		
習志野市	全国	全国1位
75%	69.8%	74%

R 5 【国語】 小学校6年生



R 5 【国語】 中学校3年生



<課題>

- ㊦一つの文章だけでなく、複数の文章を比較、対照させながら読んだり、図表などを用いて書いたりすること。
- ㊧複数の文章を比べて読み、表現方法の特徴を理解したり、共通点に気付いたりすること。

<今後の取り組み>

- ㊦文章を読んだり書いたりする際に、一つの情報だけではなく、複数の文や文章を関係付けて読み、理解したことを表現する学習を意図的に設定する。
- ㊧一つの文章を読んで理解するだけではなく、複数の文章を比較したり、対応させたりして読む学習場면을意図的に設定するようにする。

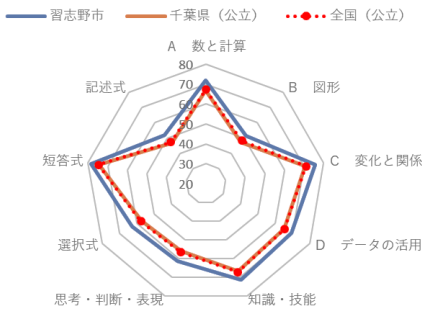
【算数】 小学校6年生

正答率		
習志野市	全国	全国1位
67%	62.5%	67%

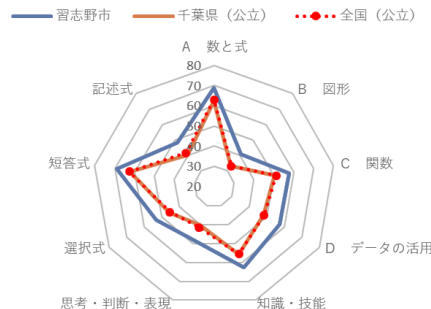
【数学】 中学校3年生

正答率		
習志野市	全国	全国1位
58%	51%	56%

R 5 【算数】 小学校6年生



R 5 【数学】 中学校3年生



<課題>

- ㊦三角形の性質への理解の低さが見られ、図形の意味や性質、面積の求め方の理解の定着。
- ㊧証明をする際の構想（どのような要素を用いてどのように事柄の仮定と結論を結び付けるかを探ること）を立てる力を高めること。

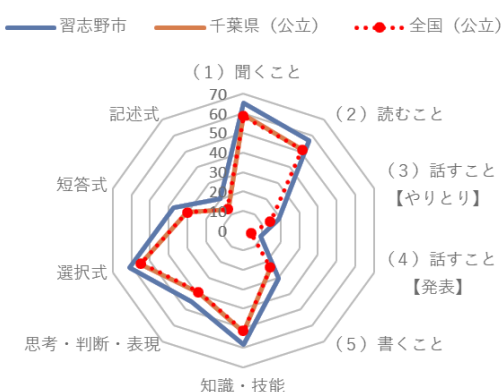
<今後の取り組み>

- ㊦図形の性質の理解を深めるために、児童一人一人が具体物や、タブレット端末のアニメーション機能を用いて操作し、思考する場面を設定する。
- ㊧同種の証明問題を繰り返し記述する場面を設定することで、証明の基本的な記述方法（手順や決まり）の定着を図る。

【英語】 中学校3年生

正答率		
習志野市	全国	全国1位
52%	45.6%	52%

R 5 【英語】 中学校3年生



<今後の取り組み>

- ㊦英単語の知識や、文構造の基礎基本の定着を図る場面や、内容を考えながら英文を読んだり書いたりする場면을授業の中に意図的に設定していく。

<課題>

- ㊦社会的な話題に関する英文を読み、自分の考えや、その理由を書くこと。

習志野市は全国、県の平均正答率を小・中学校共に全教科で上回り
全国1位の都道府県と同レベルであるといえる

袖ヶ浦東小学校 ～安全教育への取組み～

袖ヶ浦東小学校は、平成30年度に千葉県教育委員会から「命の大切さを考える防災教育公開事業」の拠点校として指定を受けて以来、保護者や地域の方々とともに様々な取組みを行っています。今年度は、**千葉県学校健康教育「学校安全の部」優良学校賞**を受賞しました。



総合防災訓練の様子。減災に向け、学校と地域の連携を図りました。



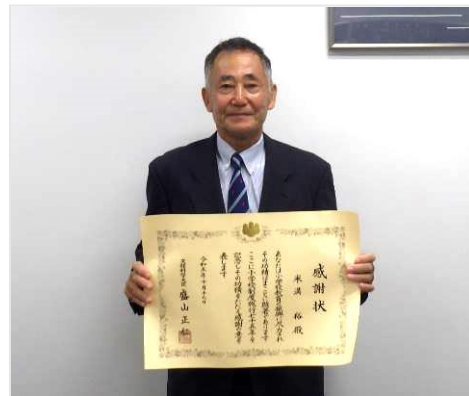
今年度はコミュニティ・スクールの導入年。「袖東小“減災”プロジェクト～小学生×保護者×地域で取り組むSDGs～」をテーマに、学校と家庭、地域が連携して安全教育に取り組みました。「①世代を超えて地域で減災を考え、日頃の安全教育に生かすこと、②学校が核となり、地域のコミュニティを構築する場とすること」をねらいとしました。一例として、防災士によるクロスロードゲームでは、同じ課題について、編成した異学年である4、6年生と大人の混合グループで議論しました。児童は子どもならではの発想や考えから自分の知っている語彙を駆使して、大人は経験値をもとに、一生懸命に理由や根拠を話し合いました。児童の感想は「難しくて本当に悩み、頭を使った。」、大人からは「普段から話し合っていることやニュース等を見て自分なりに児童ながらしっかりとした意見を持ち、発表力もあるのに驚いた。」「今回のように大人と触れあう機会を作ってあげる必要があると思う。」等のご意見を頂戴しました。郷土に愛着をもち、人の思いを大切に、自ら学ぶ子を育ててまいります。
(教頭 荒川 恵美)

教育功労者・千葉県学校体育優良校・功労者顕彰

元谷津小学校校長 米満 裕 先生

10月19日(木)に、東京国際フォーラムで開催された全国連合小学校長会75周年記念式典において、文部科学大臣から元谷津小学校校長の米満裕先生に、小学校教育功労者に対する感謝状が授与されました。

米満先生は、市内小学校のみならず、千葉県教育委員会や文部科学省での勤務経験もあり、長年にわたり小学校教育に従事し、小学校教育の振興に大きく貢献したことが表彰の理由です。現在は、秋津小学校に勤務し、初任者指導教員として先生方や子どもたちの様子を温かく見守ってくれています。



米満先生

学校体育功労者 第五中学校長 橋爪 弘一 先生 学校体育優良校 秋津小学校

11月10日(金)に、松戸市森のホール21で開催された千葉県学校体育研究大会において、千葉県学校体育優良校・功労者顕彰式が行われ、第五中学校長の橋爪弘一先生が学校体育功労者顕彰を、秋津小学校長の山下欣宏先生が学校優良校顕彰をそれぞれ授与されました。これは、学校体育の推進向上に貢献し顕著な実績をあげた学校及び指導者に対して千葉県教育委員会教育長より授与されるものです。この度は誠にありがとうございます。



山下校長(左)と橋爪校長(右)

秋の叙勲(学校保健功労)受章者

政府は11月3日付で2023年秋の叙勲受章者を発表しました。学校薬剤師として永年にわたり貢献された竹内様の教育功労受章が決定しました。

おめでとうございます!!

瑞宝双光章

元学校薬剤師 竹内 清 様

雑草の如く遅しく ～習志野高校ニュース～

先生役にチャレンジ!!



11月24日(金)に実花小学校、12月1日(金)には実
籾小学校の6年生の皆さんと先生方に御協力をいただき、「先
生役にチャレンジ!!」を行いました。

この取り組みは、習高生が普段お世話になっている地域への
恩返しをするため近隣の小・中学校で授業のお手伝い(チーム
ティーチングのT2)をするというものです。また、教師として
の仕事に触れ、教職への関心を高めることも目的としています。

自己発展学習「数学セミナー」の受講者から募った生徒
で、授業のお手伝いに参加しました。実花小学校の授業で
は、BYODの活用としてアプリケーションを利用した問題
の配付や、動画資料を有効活用した授業、児童同士の教え合
いに活発な発言が見られ、これからの教育に必要なスキル
を身近で感じることができました。

実籾小学校では演習の時間を通して「比例」の習熟に取り
組みました。単位の違いがある場合、どのように計算すると
よいのか生徒は説明の仕方に苦労していたようです。

小学生の皆さんに会うまでは「話しかけてくれるかな?」「先生として頼ってくれるかな?」と不安
もありましたが、明るくたくさん話しかけてもらい終始楽しく授業のお手伝いことができました。この後
は、1月12日(金)に東習志野小学校で、「先生役にチャレンジ!!」が予定されています。このよう
な体験を通して、教育という仕事のやりがいや意義に気付いて、先生という職業を目指す習高生が1人
また1人と増えていくことを期待しています。



「私は将来中学校の教師を目指していますが、今日の
経験で小学校ってこんなに楽しいんだな、と思いました。
なんでも思ったことをたくさん聞いてくれる素直
さが可愛かったです。」

私はこの学習が将来にとっても役に立つと思いま
した。45分間先生をしてみても、私の将来の夢である中
・高の教員として、教える上でとても勉強になりました。
自分の将来の課題がわかる有意義な時間でした。



寄附受納及び感謝状贈呈式

11月2日(木)に市庁舎にて、「寄附受納及び感
謝状贈呈式」が行われました。「習志野市の教育事業
発展に少しでも役立てられたらとの思いで寄附させ
ていただきました。」というメッセージと共に、佐藤
哲太郎様より教育文化振興基金へ御寄附を頂きました。
感謝いたしますと共に、子どもたちが今後、さら
に充実した学校生活を送ることができるよう、最
善を尽くして参ります。

(文責 教育総務課 佐藤)

佐藤 哲太郎 様

(写真中央左)



ありがとうございました!!

習志野市立第七中学校

全校生徒数：321名

学級数：12（自閉症・情緒障がい特別支援学級2）

学校教育目標「学び合い 思いやり 心身ともにたくましい生徒の育成」



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

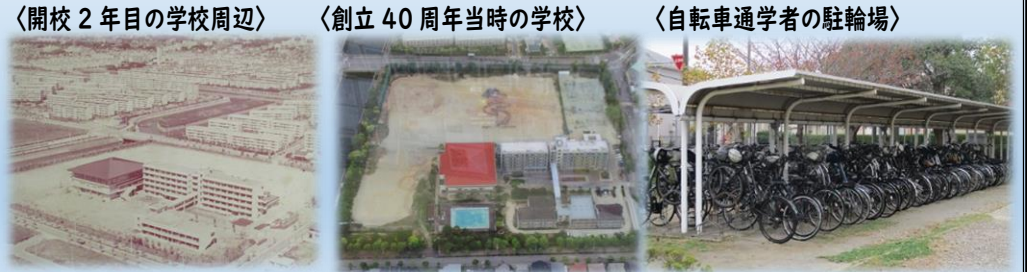
No. 21

《学校の歴史》

本校は、昭和55年に香澄6丁目に開校した習志野市で一番最後に設置された中学校です。令和元年11月には、開校40周年の記念式典を開催し、今年度で開校44年目を迎えました。

本校の通学区域は、東西に広く分布することから、市内で唯一「自転車通学区域」が指定されています。

現在は、地域に開かれた学校を目指して、令和5年度より学校運営協議会と地域学校推進協働本部を開設する等、学校と地域が一体となって教育活動に取り組んでいます。



《学校の特色》 「合いのある学校 ～語り合い 学び合い 響き合い～」

平成25年に、第15代校長が教育理念としてかかげた「合いのある学校」は、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるものとなり、生徒、教職員、保護者、地域に広く伝わる合言葉となっています。

合いのある学校
～語り合い 学び合い 響き合い～

「語り合い」…考えを出し合い、意見を認め合い、学びを深めます

「学び合い」…仲間と力を出し合い、より高い目標をめざします

「響き合い」…語り合い、学び合うことで、心を響かせ合いながら成長します

本校では、学校教育目標である「学び合い」を具現化するために、研究主題を「すべての生徒の学習への参加と理解を促す授業の在り方」と掲げ、ユニバーサルデザインの視点（授業の「焦点化」「共有化」「視覚化」）から授業改善し、誰もが学びやすい学校をめざしています。

令和5年度 習志野市立第七中学校公開研究会
全体会・記念講演会

研究主題
すべての生徒の授業への参加と理解を促す授業のあり方
～授業のユニバーサルデザインの視点から～

記念講演
「授業のユニバーサルデザインを進めるためのポイント」
日本授業ユニバーサルデザイン学会監事
元東京部日野市立第三小学校 校長 京極 澄子 様

《地域と協働の環境整備》



また、PTA 主催の七中フェスティバルの開催や後援会からの支援、香澄まつり、秋津まつりへの参加やパトロール、新習志野公民館主催の海辺のコンサートやかるた会、県立津田沼高等学校や近隣のこども園・幼稚園・保育所との連携など、生徒、教職員、保護者 PTA、地域が一体となって学校づくりをしています。



学校運営協議会の方によるカーテンの設置

〈R5 歯科保健優秀賞〉



〈PTA バレーボール部の活躍〉



〈後援会からの寄贈〉



後援会から、冷水器2台を寄贈

《部活動の活躍》

県の大会やコンクールでの活躍

※一部を紹介します。

【男子バレーボール部】

R5 関東大会出場



【野球部】

H22 関東大会出場



【吹奏楽部】

R5 県吹奏楽コンクール金賞本選大会出場

